令和８年度　第３回　城北小学校運営協議会



＜５年：林間学校…白倉集落散策＞



＜６年：総合的な学習の時間…探求活動＞







令和８年１０月２９日（木）

浜松市立城北小学校

第　３　回　城北小学校運営協議会

令和８年　１０月２９日
14：00～15：30
会議室

開会　開催要件（委員の過半数の出席）確認　　＜司会：教頭　記録：田村＞
１　会長挨拶（大谷会長）

２　校長挨拶（校長）

３　議長の選出（大谷会長）

４　前回会議録確認・・・資料１

５　熟議　＜議長：中川＞
（１）「城北地区の未来について考えよう」
　　６年生が城北地区の良さや課題について話し合い：参加をお願いします
　　〇参観学級グループごとに懇談
　　〇共有・まとめ
（２）６年生児童による「城北探求」の経過報告

６　報告　　＜司会：教頭　記録：田村＞
（１）城北小学校 PTA 今後の活動方針について（石坂会長、中川学校支援 CD）

（２）学校支援ＣＤから
　　１０月～城北小サポーター活動実施報告

７　連絡
（１）学校運営協議会自己評価実施について
　　・提出締切　<u>１２月１日（火）までに学校に提出</u>
　　提出物　　様式２「令和８年度　学校運営協議会自己評価表」【別紙：本日配付】
（２）次回学校運営協議会
　　令和９年　２月　４日（木）１４：３０～１６：００　会議室
（３）次回の熟議内容の確認
　　（１）学校関係者評価
　　①　本年度の教育活動の説明
　　②　学校評価を元にした改善案についての説明
　　③　改善案についての熟議
　　（２）来年度の学校経営の基本方針説明
　　（３）来年度のＣＳ活動の計画案※ＣＳ活動の説明
　　（４）学校運営協議会の自己評価
閉会

学校運営協議会委員

会長	おおたに　よしのり 大谷　好律
副会長	はかまた　やすのり 袴田　泰哲
委員	かとう　つよし 加藤　剛士
委員	やまざき　こ 山﨑　えみ子
委員	なかがわ　ともひろ　がっこうえん 中川　智博（学校支援ＣＤ）
委員	かみうえ　りえ　がっこうえん 紙上　理恵（学校支援ＣＤ）
委員	たかだ 高田　あゆみ
委員	いしざか　のりこ 石坂　紀子

オブザーバー

前会長	いわい　くみこ 岩井　弘美子
はままつ青少年の家	いのした　しゅんすけ 井下　俊輔
高台協働センター	もりした　かずゆき 森下　和之
高台協働センター	すずき　こうすけ 鈴木　皓介

学校

校長	やました　あつし 山下　淳
教頭	ふるはし　まきこ 古橋　麻紀子
ＣＳ担当教職員	おおた　もとこ 太田　礎子
ＣＳディレクター	たむら　しずか 田村　静

浜松市教育委員会

学校・地域連携課	やまもと　みよえ 山本　美世絵

学校運営協議会　年間計画

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※　委員の過半数の出席がないと開催できません。

※　感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容　熟議のテーマ　等	備考
1	令和8年 4月23日 木曜日 14:00～15:30 会議室	(1) 学校運営の基本方針について 説明→質疑応答→熟議→承認 (2)いじめ防止等のための基本的な方針 説明→質疑応答→熟議(学校、家庭でできること) (3)夢育やらまいか事業(CS加算分)に対する意見書について 報告 (1)サポーターとつくる特色ある学校づくり年間計画 (2)学校コーディネーターから ・4月の城北小サポーター活動計画	
2	6月25日 木曜日 14:10～15:30 会議室 授業参観 13:15～14:00	(1)「城北小学校の教育」について 熟議(授業参観の様子や学校からの子供たちの様子をふまえ、学校・家庭・地域でできること) (2)学校評価の評価項目について 熟議(子供たち、保護者に分かりやすい項目となっているか) 報告 (1) 4・5月の実践について	
3	10月29日 木曜日 13:10～15:30 会議室 授業参観 13:15～14:00	(1)「城北地区、城北小の未来について考えよう」 ・6年生授業への参加についての説明 熟議(授業参観の様子や学校からの子供たちの様子をふまえ、学校・家庭・地域でできること) (2)学校がかかえる課題と改善案 熟議(不登校等、学校の実情から家庭、地域でできること) (3)9月以降の実践について	学校運営協議会自己評価実施について 学校運営協議会自己評価(個人)⇒学校への提出締め切り:12月1日
4	令和9年 2月4日 木曜日 14:30～16:00 会議室	(1) 学校関係者評価 ① 本年度の教育活動の説明 ② 学校評価を元にした改善案についての説明 ③ 改善案についての熟議 (2) 来年度の学校経営の基本方針説明 説明→質疑応答→熟議 (3) 来年度のCS活動の計画案※CS活動の説明 (4) 学校運営協議会の自己評価 報告 (1)夢育やらまいかCS加算分報告	学校運営協議会自己評価委員の意見集約(会長)⇒学校への提出締切:R9．2月末日

令和８年度　第２回　城北小学校運営協議会　会議録（要点記録）

１　開　催　日　時　　令和８年６月25日（木）　14時10分から15時30分まで
２　開　催　場　所　　城北小学校　会議室
３　出　席　委　員　　大谷　好律、袴田　泰哲、山崎　えみ子、加藤　剛士、中川　智博
　　紙上　理恵、高田　あゆみ、石坂　紀子
４　欠　席　委　員　　なし
５　オブザーバー　　岩井　弘美子（学校運営委員会前会長）、井下　俊輔（青少年の家）
６　学　　校　　山下　淳（校長）、古橋　麻紀子（教頭）、太田　礎子（教務主任）
　　土屋　祥代（研修主任）、田村　静（ＣＳディレクター）
７　教育委員会　　山本　美世絵（学校・地域連携課）
８　傍　聴　者　　なし
９　会議録作成者　　ＣＳディレクター　田村　静
１０　議長の選出

教頭より、議長の選出について意見を求めたところ、大谷会長から中川委員を議長に推挙する旨の発言があり、全員異議無くこれを承認した。

１１　協 議 事 項

（１）「城北小学校の教育」について

・本年度の学習の重点「主体的に学習に学ぶ態度」（研修主任：土屋教諭）

（２）学校評価の評価項目について

１２　会 議 記 録

教頭より、委員総数８名のうち７名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（２）学校評価の評価項目について

議長の指示により、別紙資料に基づき、教頭から学校評価の評価項目についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

・学校外においても、子どもたちから声を掛けて貰いやすいような環境を作りたい。顔を憶えて貰えば、学校では言えない相談事を受けられるような仲になり、いじめも減るかもしれない。（山崎委員）
・いじめの認知ケースは22件。重大事項は１件も無く、学校はいじめを未然に防ぐことができたといえる。これを地域に広げることで、平和な小学校が維持できる。（中川委員）
・子どもの自主性を主体として教育することは非常に良い。楽しいことは自然と認識し、継続して取り組むことが出来る。子どもたちが何に対して楽しいと感じているのかを時間をかけて取り組むと良い。（袴田副会長）
・項目15では、保護者と子どもの約１割が完璧に出来ていないと感じている。（加藤委員）
・認識の違いを前提として考慮すべき。特性上難しい子にとっては、苦しいように思える。（大谷会長）
・ひまわり学級など、子どもの特性を生かしていく意味で、より柔軟に回答出来ると良い。（中川委員）
・子どもを通して学校内の状況が見えづらく実態が分からないので、回答に困る項目もある。

項目 12・13 はもう少し分かりやすいと良い。1 年生と 6 年生では項目ごとのイメージが異なるので、結果としてどのように評価するのか。（石坂委員）

・項目 10・12・13 は特に低学年には難しい質問。対象者を 3 年生以上に絞るなど、1・2 年生にも答えやすいようにして貰いたい。まずは学校を楽しむことが目標なので、工夫が必要。（高田委員）

→タブレットにて回答している。1・2 年生には先生方が噛み砕いて説明している。（教頭）

・低学年の理解が追い付かず、評価が下がった可能性もある。（中川委員）

・保護者による学校目標の理解・把握がアンケートの回答にどこまで反映されているかはわからないが、文字で書かれていることによって、意識付けを促進できているように思える。（紙上委員）

・今年は去年より主体性・協働・多様性を積み上げているので、その年々の力点によって評価項目のウエイトを変えても良い。専門用語が多く使われているので、保護者や生徒にも分かりやすいよう、今年の重点や焦点を整理して修正して欲しい。（岩井さん）

（1）「城北小学校の教育」について

本年度の学習の重点「主体的に学習に学ぶ態度」について、研修主任の土屋教諭より説明があり、委員からは以下の発言があった。

・アクト建設での講義は、学校で学ぶ内容とは異なる視点だった。子どもたちが分かりやすい目線で話をしていた。（紙上委員）

→今まで積み上げてきた知識を繋げていく、楽しい学びの一歩だった。（土屋教諭）

・仕事や生活の中での身近なことや、関心があることの仕組みを学んでいけば、興味が深まる。生活に近い部分において、地域と学校との距離が縮めば、子どもとの距離も縮まる。（大谷会長）

・先生が伴走し、子どもたちと一緒に進んでいく感じが授業から見受けられた。手を差し伸べてもらう力・差し伸べられる力を小学校の段階から自然と身に付けていけば、将来困る大人が少なくなるのではないか。（山崎委員）

・今の社会に沿った授業をしていると感じた。社会で生きていく上での力を少しずつ育てながら知識を得ていけば、将来役に立つと思う。（高田委員）

・自分で考えたことが認められると楽しさに繋がる。（石坂委員）

・賑やかな印象の授業が多く、楽しそうな雰囲気だった。仕事において実践している、主体・協働・多様性（意見を出す・話し合う・発表する）を子どもの頃から取り組んでいるので、凄いと思う。（加藤委員）

・良いと思ったことを真似て自分のものにして学ぶ方法は、子どもにも分かりやすく伝わりやすい。生徒がやりたいと思えることが必ず見つかると教えて貰いたい。（袴田副会長）

・地元と共にある学校、主体的に学ぶ学習への方向転換、地域で子どもを育てるという意識が、保護者を含め末端まで浸透してきている。（中川委員）

・社会や公共の施設ではどのように過ごすのが礼儀で適切かということを、学校任せではなく、我々が子どもたちに指導していく状態を作りたい。地域が一層、子どもの成長に携わりたい。（井下さん）

・主体的な授業に変えようという教員の意識や心意気が良い。主体的な学びが深い学びに繋が

っていて嬉しい。子どもたちが気付いたことから取り組み、皆と交流して深い学習へと通じていく。教員が事例を沢山提示すれば、主体的な学習に結実する。今後の家庭学習について、様々な方法や具体例を発表・公表して保護者へＰＲするなど、地道な連携が大切。（岩井さん）

→家庭学習においては、一年がかりの計画で取り組んでいる。発達段階に応じて、6 年生で確実に出来るようにと考えている。（教頭）

・行政においては、数字で評価することが多い。ただ、数字だけだと人に伝えるのが難しい部分がある。付属資料を付けるなど、来年度に向けての学校評価項目の検討をして貰いたい。（山本さん）

その他報告事項等

（１） 学校支援ＣＤより、下記 2 点についての説明があった。

① 5 月の城北小サポーター活動実施報告

② 城北小サポーター顔合わせ・説明会報告

その他連絡

次回の運営協議会は、10 月 29 日（木）13 時 00 分から 14 時 00 分 授業参観、14 時 10 分から 15 時 30 分 学校運営協議会を城北小学校会議室にて開催する旨の報告があった。

資料１

６年生への授業参加について

「城北地区の未来について考えよう」

【目的】

○　自分たちの住む城北地区を改めて見つめ、良さや課題を話し合うことを通して、地域への愛着、地域の一員としての自覚や自己効力感を育む。

○　話し合いの内容を、分類、比較、焦点化などして、自分の考えを広げたり、深めたりすることができる。

【内容】

○　城北地区の良さや課題を出し合い、今後、城北地区がどうなってほしいか、自分たちに何ができるかを話し合う。

（話し合いの視点：人、自然、歴史伝統、行事イベント、利便性など）

○　学校運営協議会委員は、子供たちの考えに対して意見を伝える。

＜城北地区未来プラン＞（案）

未来の城北地区の姿

☆ すれ違う人たちがあいさつをし合ったり、困っている人に声を掛けたりしている

☆ 各地区で、浜松祭りが受け継がれている。

☆ そこに住んでいる人たちが、「住みやすい」と感じている。

そのために…これをがんばる！こうしたい！

〇自分から気持ちの良いあいさつをする。

〇イベントや行事に積極的に参加する。

など

＜メモ＞